

内容	件数	ご意見	市の考え
計画全般に関する こと	1	■PFAS（有機フッ素化合物）について、市および市内事業者への検査等管理の徹底・水循環計画を立てている以上、飲料水となる可能性のある水資源について、PFASの管理体制を整備する必要があるため。水循環計画にはそれらが盛り込まれていないため、項目・数値目標・整備計画を計画の中に盛り込んでいただきたい。	PFAS（有機フッ素化合物）による健康の影響に関すること・公共水域の水質等に関する検査等は、国や東京都の動向を注視しつつ、各所管が連携して対応してまいります。
	2	素案拝見いたしました。まちづくりに潤いをもたらす政策として水循環計画に期待しています。特に、八王子市は水循環部という組織をもって計画を実現しようとする体制がわかりやすく良いと思います。市内の河川は国や東京都が整備を担当しているとのこと、洪水から市民を守る取り組みはもちろん、まちづくりに河川の潤いを活かすためには、東京都や国土交通省との連携が必要不可欠かと思われます。東京都や国との連携のための体制づくりをしっかりと行いながら、水循環計画にいう湧水や河川の潤いを活かしたまちづくりを期待しています。	本計画では、雨水を浸透させ、地下水を保全し、水辺を活用し、浸水を抑えてということ、それぞれの取組自体がまちづくりと位置付けており、今後も湧水や河川の潤いを活かした取組を進めてまいります。また、取組に当たっては、河川管理者である国や東京都と連携し、水循環に関わる関係部署と一体となって横断的に連携して取組を進めてまいります。
	3	図表の出典が明記されているもの、明記されていないものが混在している。本来は（〇〇を一部改変）や、（平成〇〇年か令和〇年の年間降水量より作成）のように出典を明記すべき。特に、都や大学の未発表データを使って作成した場合は、本計画によって初めて世に出るので配慮が必要。	ご意見を踏まえ、出典の表記の統一の必要があると考え、修正いたします。
	4	図表の番号のつけ方が統一されていない。現在番号が振られていない写真でも、「図〇-〇」または「写真〇-〇」のように番号を振るべき。	ご意見を踏まえ、図表番号の統一的な附番の必要があると考え、修正いたします。
	5	みどりの基本計画や下水道事業経営戦略のように、同じ時期に改定を迎える計画と連携した計画となっているか確認してほしい。	関係する部署と連携を図り、整合のとれた計画といたします。
第1章 と 第2章 に 関 する こ と	6	p. 4 第一章 過去に比べて現在の不浸透域がどれくらい広がったのか、示された図が欲しい。	ご意見を踏まえ、不浸透域の拡大を視覚的に伝える図は効果的であると考え、これらが表現される図を挿入いたします。
第2章 に 関 する こ と	7	p. 8 「私たちの市は、飲料水などの生活用水の約9割を市域外からの水道に依存しています。…」→生活用水の約9割が市域外からの水道ならば、市内で利水に取り組むメリットは極めて小さいように感じる。なぜこの文章があるのかがよくわからない。	ご意見いただいた文章は、水道水源として他市からの流入があるという市の水収支を表現しており、生活用水の一部となる水資源が市外に依存する貴重な資源であることを伝えたいため記載しております。また、利水の手段のひとつである雨水貯留槽は、水道水源の節約に寄与するだけでなく、雨水流出を抑制し浸水対策にもつながることから、市民にとってメリットとなると考えております。
	8	p. 12 「健全な水循環の維持回復における目指すべき姿（国の水循環基本計画）」の第二段落の「また～」以下が、国の水循環基本計画で述べていることなのか、普遍的な「健全な水循環の維持回復における目指すべき姿」なのかよくわからない。八王子市として重要だと思っている内容ならばタイトルを再考すべきだし、水循環基本計画にある内容ならば、第一段落同様「-と記載されている」などと示すべき。	ご意見を踏まえ、標記のタイトルと本文との整合を図り、水循環基本法及び水循環基本計画の概要を紹介する内容と整理いたします。
第3章 に 関 する こ と	9	p. 17 「前半5年間の進捗よく状況・主な成果と課題」とあるが、進捗について（〇〇に取り組んだ、等）の記載はあるものの、そこから得られた成果が十分に書かれていないように見える。また、中間見直しにおける課題とは、1、2及び3のどのような成果を受けての課題設定なのかが不明瞭。八王子市に限らず、行政の計画における課題設定はこう書かれがちではあるが、読み手としては非常に読みづらい。	ご意見を踏まえ、前半5年間の取組の成果について記載が不十分と考え、本項目の記載を充実させ、成果と課題のつながりを分かりやすく示すよう修正いたします。

内容	件数	ご意見	市の考え
第4章に関すること	10	私は八王子の川で小さい頃から遊んできました。夏は川に入って遊び、春秋は魚つりをして川に親しんできました。親となった今、子供を連れて水遊びをしたり魚や水中生物さがしをして楽しんでいます。美しい川、たくさんの川の生き物が残るようにたくさんの税金を投入してほしいと思っております。	これまでに引き継がれている豊かな河川環境を次世代にも引き継ぐことができるよう、自然に配慮した水辺づくりや環境教育・環境学習に力を入れてまいります。
	11	八王子市水循環計画、長期的な目標を立て実行して下さりありがとうございます。浅川小では川調査というものがあり、子供たちの生活の中でも、八王子の自然(川)は、かけがえのないものとなっているようです。改定前のものが、分からずで申し訳ないのですが、改定内容については、写真などでイメージが分かりやすく内容もすてきなものかと思えます。ぜひ、水循環の課題解決のために、今後とも、よろしくお願いいたします。	
	12	学校の授業の中で、川の学習を行いました。その中で、水質が良くなり、たくさんの生き物が増えてきているとの話を伺いました。八王子市にとって、自然は大切な観光資源になると思います。そのためにも、このような、計画は多いに推進していただきたいと思えます。	
	13	今後、小中学生用の資料等もあると、より広く活動されていることが、広く周知されると思った。八王子に住み、身近な川に興味をもつ子どもたちを育成したいと考えた。資料は、視覚的に見やすく作成されていると感じた。	
	14	川口川(高尾街道-かすみ学園通り区間)の陶鎔小学校周辺と下流側の整備状態に差があります。学校周辺は学校関係者が整備しているのでしょうか。下流側は自然に任せている状況と言えなくもないですが、ゴミが目立つことも事実です。投棄物、浮遊ゴミの撤去など適正に行っていたらと思います。	川口川は東京都が管理する河川となっております。投棄物やごみの撤去につきましては河川管理者へ働きかけを行ってまいります。また、河川の清掃活動に対する支援やごみの投げ捨て防止などの広報等を通じて、河川周辺の美化活動への啓発をしてまいります。
	15	八王子市の水に関する環境改善への取り組みがよく分かりました。取り組みについての状況等をより市民に発信していくことができるとよいと思えました。	取組状況について多くの人にわかりやすく伝わるよう、情報発信を強化してまいります。
	16	このような計画があることをもっと広く、市内全体に発信していかれるとよいと思えます(もう少し分かりやすい資料だと尚よいと思えます)。	
	17	市内には川がいくつか流れていますが、近くを通る際に(雨天時は大丈夫だろうか?)と考えることがあります。大雨や台風などで大きな被害が出ないように、検討していただくと安全、安心につながります。一方で子どもたちの遊びや学びの場でもあるので、守っていききたいですね。	近年の気候変動の影響による豪雨の頻発化・激甚化への対策として、水害に強いまちづくりを進めるため、国・東京都と連携しながら河川や下水道、雨水流出抑制施設の整備を進めてまいります。また、グリーンインフラの活用など、市民・事業者の皆様と雨水貯留浸透施設の設置促進に協働して取り組んでまいります。あわせて、親水空間としての水辺の保全や整備につきましても、国や東京都との連携を図りつつ、働きかけを行ってまいります。
	18	浅川近くに住んでおります。普段の浅川は1年を通して穏やかで野鳥や四季の花々が楽しめます。ただ近年、温暖化の影響でしょうか?台風やゲリラ豪雨などで大量の雨が降ると河川が氾濫するのではないかと心配になる時があります。他人事ではなく自分事としてできることを取り組みたいと思えます。	
	19	学校においては、特に環境に関しては、八王子市未来デザイン2040等のSDGsの教育を行っている。「八王子市水循環計画」に示された内容は、「11.住み続けられるまちづくりを」や、「14.海の豊かさを守ろう」などともつながり、生物多様性や自然との共生を考えていくうえでも、大事な取り組みだと思えます。活動の啓発のために、「水と自然学習プロジェクト」などあるとよいかもしれません。	第3次八王子市環境基本計画・生物多様性地域戦略を踏まえ、本計画においても子どもの環境教育や自然とふれあう機会の創出を図ってまいります。
	20	素案に賛成しますが、市内には沢山の川、水路がありますが、暗渠になっていたり私有地の間を流れている川も多く、水を身近に感じられないこともあるので、支障がない程度に暗渠を撤去したり、遊歩道を設けるなどして親しみやすくしてほしいです。	市は「多自然川づくり基本指針」に基づいた水辺づくりを目指しています。いただいたご意見のとおり、治水上の安全安心確保と親水環境の視点を踏まえながら、親しみやすい水路の水辺空間づくりを検討してまいります。
	21	p. 21 図4-2 図内の説明が「雨水浸透”マス”と表記ゆれしている。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
	22	p. 28 「川サポーター」のタイトル表記が縦に縮まっている。	ご意見を踏まえ、修正いたします。
	23	p. 29 下段注釈に「本計画では、学校は…等とします。」とあるが、「等」を外すか、「等」の中身を明記してほしい。学校教育法上の学校以外も含めたくて「等」をつけたことはわかるのだが、だからこそ「等」が意味する学校を示して貰わないと、何を意識しているのかが読み取れない。	ご意見を踏まえ、「等」を削除する形に修正いたします。
	24	p. 34 「1)公共下水道への接続促進」にある、「オ.複合的な接続促進」はどういう意味での「複合的な」促進なのか、よくわからない。	公共下水道への接続につながるよう、様々な課題改善を通じて複数の関係所管と連携し接続促進を行う意図として記載しております。表記について、分かりやすい表現に修正いたします。

内容	件数	ご意見	市の考え
第4章に関する事	25	p. 43 「湧水測定データを用いた地下水の状況把握」について、「最小流量が2010年から2022年にかけて減少傾向にあることがわかります」は「2010年から2013年にかけて減少傾向にあることがわかります」の誤記と思われる(グラフでは、2010年から2013年にかけて急激に減少、その後ほぼ横ばい)。	ご意見いただいた箇所につきましては、変動がありながらも12年間の傾向として減少していることを示しております。
	26	p. 44 p値の大小を「〇〇%の確率で確からしい」と表現してよいのか?あれはあくまで帰無仮説を棄却できるかどうかを考える上での確率だと認識しているのだが…。	ご意見いただいたとおりですが、多くの人にわかりやすく伝えるために素案ではこのように表現いたしました。ご意見をふまえ、より分かりやすい表現に修正いたします。
	27	以前、小学生の子どもの川調査に付き添った際、ちょうど台風の後で、水生生物がほとんど流されてしまい、もとの戻るまでに少し時間がかかると、地域のボランティアの方に伺いました。この水循環計画で、そういったところの保全にもつながるとしたら、とても良いと思います。	昨今の気候変動による豪雨の影響が問題となる中、水辺の生きものの生息状況を定期的に把握することは重要と考えております。本計画における「生きものの棲む水辺を育てる」取組として、進めてまいります。
第5章に関する事	28	方針2について、下水道に関して言及しているところにし尿・浄化汚泥に言及した段落が入るのが違和感。別項目とすべき。そもそも、井戸水で希釈している八王子市のし尿処理は水循環の視点から見た時に効率的と表現して良いのか。	ご意見を踏まえ、下水道事業、し尿処理の事業の項目分けについて、整理いたします。なお、し尿・浄化槽汚泥等の処理量はピーク時から大幅に減少しており、処理量に応じた効率的な施設とするため、これまでに縮小化工事・下水道直接投入化工事を行い処理方法を見直し効率化を図ってまいりました。今後も、安定的なし尿・浄化槽汚泥等の中間処理に努めてまいります。
第6章に関する事	29	pp. 67-68 図6-1 「陵北地点」「高尾周辺拠点」等が図示されているが、概要では特にこれらが言及されてはいない。削除するか、例えば「*詳細はp. 77へ」のように、詳細が示されたページへ誘導する注釈を入れてはどうか。	ご意見を踏まえ、川と湧水・水のまちプロジェクトのイメージに分かりやすい表現となるよう、注記を挿入いたします。
	30	川の川沿いを歩いていると、活用されているエリアとともって活用できそうなエリアがあるので、全体的に活用されたエリアができるのはうれしいです。水辺を利用した安全な公園などがもっとあると、良いなと思います。	ご意見を踏まえ、親水空間の更なる活用に向けて、関係部署と連携して「川と湧水・水のまちプロジェクト」を推進してまいります。
	31	中間改定で、水辺の生きものに親しむ取組の推進や、特に、地域主体の水辺の賑わいづくりはまさに今我々が具体策に取り組んでいるところです。意見という意見ではありませんが、会議を重ねる毎に一步步前に進んでいます。広場のイベントで賑わいさせましょう。	
	32	日頃より、自然環境を大切に、住みよい八王子市をつくるためご尽力いただいたことに深く感謝いたします。今回の施策の中に、浅川の水辺と水のまちづくりというものがあり、何回か試験的に各種イベントが行われてきており、地域住民・周辺の住民の方々も楽しみにしているところです。今後継続して、さらに様々なイベントを行っていくにあたり、1点提案させていただきたい事項がございます。浅川の河原を利用して行うイベントの場合、河原に降りる階段が狭く、また急勾配のため、特に子供・年配者は、河原に降りることに危険が伴います。最近、高尾山口駅前の河原等が整備され非常に好評と聞いております。浅川にも是非安心して河原に降りられるような階段等をつくっていただけたらと考えており、ご検討をお願いいたします。	地域の皆様・事業者の方々と一体となってこれまで議論を重ねてまいりました。ご意見を踏まえながら、水辺を活かした地域コミュニティ活性化へとつなげて行くことができるよう、今後も議論を重ね、地域と事業者、そして行政が一体となって取り組む持続可能な体制づくりを進めてまいります。また、地域の紡いだ歴史や周辺環境を活かした水辺の賑わい創出に取り組んでまいります。
	33	現在、水辺を活用して賑わいをという事で1年間携わってます。イベント数回実施して、それなりに成果が上がりましたが、企画した人達の力です。私が求めているのは川辺環境で人が集まるようになってもらいたいです。それには読書、遊び、飲食といった事が楽しめる場所に造る事を望みます。夏の水遊びはここ数年賑わいがあります、それ以外の季節でも常に人に集まってもらいたいですね。	

内容	件数	ご意見	市の考え
第6章に関する事	34	<p>現在、行政の側からの呼びかけに応える形で、浅川地域の広場を活用したい業者、町会長、青少対役員、近在大学の学生と先生などが顔を合わせている。最初の思いはバラバラだったが、会議を重ねるにつぎ、さらに、南浅川活用の小イベントだが、2、3回やる事で、やるからには成功させたい思いは共通になって、何となくバラバラ感は共有されていった。3月に、夜桜イベントを企画している。</p> <p>まちづくりと言うと、シャッター街や古い団地の活性化政策が多い。僕たちは、普通の高齢化が進んでいる住宅地で、町会未加入、役員不足の町会と関連団体などの問題を抱えている。まちづくりはハードも必要だが、ソフトも重要だと思う。行政の呼びかけではあったが、コミュニティと言うソフトを大切にしたい。小さいまちづくりのための南浅川をもっともっと活用したいと考えます。行政は、きっかけづくりはよくするが、一緒に作業する職員を養成・派遣する必要を認めて欲しい。始まったが途中でハシゴを外すのは絶対にやめてほしい。この地域の歴史感、歴史観が不足しているので、ぜひ教育委員会を通して、資料館などの職員も参加して、南浅川流域のミズカラを熱く・厚くして欲しい。</p>	
	35	<p>世界の4大文明と言われる、中国(黄河・長江)・インダス(インダス河)・エジプト(ナイル河)・メソポタミア(チグリス・ユーフラテス河)の各文明は、いずれも豊富な水がある河川流域で発達してきた。このように人は、河川の水を頼りにしてきた。</p> <p>振り返って私が子供のころを思うと、浅川地区でも河川を利用した生活があった。</p> <p>この浅川地区には、案内川・小仏川・南浅川が流れ、これより小さい川があり、もっと小さい「沢」と呼ばれている川も流れている。</p> <p>では浅川地区は、河川を利用したどんな生活をしていただろうか？</p> <p>魚釣り(網などを使用した魚獲り)、水遊び(泳ぎを含む)、洗濯物を洗う、野菜を洗う、水田に引用、水車で米をつく(精米)等々、川が命を繋いでくれた。</p> <p>魚とりには「どう」という道具を使った。1m位の長さで直径20cm位を中ほどまで竹で編み、入口の方を折り返して7cmくらいの穴にし、下流に向け入った魚が逃げないように、逆側はバラバラにした竹を縄で縛り、引き上げた時に魚を取り出すのだ。この「どう」は、産卵期に「ハヤ」が産卵するために、浅瀬の底を綺麗にして楕円形の産卵場を作りその下流に穴が開いた方に向け、縄で縛った方を上流にして固定する。ハヤは、産卵期になると腹部に赤い筋ができ魚卵が入っている。これを河原で、家で焼いて食べるのだ。「どう」は、ピンでできた「ピンどう」という漁具もあった。この「ピンどう」は、産卵場に置くのには不向きであった。</p> <p>夏になると川遊びだ。泳げる水深がない場所では先輩の指示により石を積み、隙間に草をつめて少しでも深くなるようにして天然のプールを作った。また、長く入っていると体が冷え、その体を国道に投げ出し温めたりした(60年以上前の国道は交通量が少なかった)。</p> <p>水田はいたるところにあり水車は10か所ほどで、農家が収穫した米を精米した。このように浅川地区も、「川」の恩恵をうけて人々の命をつないできた。</p> <p>さて、水環境整備課で2年ほど前から「ミズカラ」と銘打ち、東浅川の南浅川で、水辺を活用し親しもうとの事業を始めた。私も川の活用を考えていたから、渡りに船と思い当初から準備会のメンバーを仰せつかった。水辺をどのように活用し親しむのか、と年代を超えたメンバーで懇談をしてきた。メンバーは水辺であんなことをしたいこんなことをしたい、と意見を出してきた。その結果、夏休みに第1回目のイベント、10月に2回目のイベントを行いいずれも悪い結果ではなかった。しかし、これは行政がお膳立てをしての結果だと思う。ただ、声をかけて人集めをしてどのように進めれば良いかは、中々難しい。だから出発は行政で良いと思う。</p> <p>私はなぜ委員をしたのか。それは、昔から親しんできた「川」に関心を持つ人が少なくなり、もっと「川」の方を向いて欲しいからだ。そして、子供に「川」とじゃれ遊んでもらいたいからだ。かつての浅川の子供たちのように。</p> <p>この準備会は、行政から提案されて出発した。地域住民は、水辺で何かしたいと思っても、中々足を踏み出せないこの提案には感謝する次第。</p> <p>本来は地域住民が、「この水辺で大人も子供も一緒に遊ぶためにはどうしようか？」と考え、単純な思いを積み重ね、徐々に川辺に集う人が増え、結果的に「何かお店があったらいいよね。」と発展していくような姿を描いていたが、事業者がこんな早い段階から参加してくるとは思わなかった。</p> <p>私は、人が川とともに命を繋いできたことを改めて認識して、「川」に寄り添う必要があると思う。前述したが、出発は行政で良い。あくまでも地域が主体に動き、行政はアドバイザー役になってくれれば良いのではないかと思う。</p> <p>しかし、ここまで来たからにはこのまま進み、「少しずつ少しずつ」地域が主体的に行うような方向になればと思う。</p>	<p>地域の皆様・事業者の方々と一体となってこれまで議論を重ねてまいりました。ご意見を踏まえながら、水辺を活かした地域コミュニティ活性化へとつなげて行くことができるよう、今後も議論を重ね、地域と事業者、そして行政が一体となって取り組む持続可能な体制づくりを進めてまいります。また、地域が主体となった水辺空間活用へと展開できるよう、行政として取り組んでまいります。</p>

内容	件数	ご意見	市の考え
資料編に関する事	36	p. 98 河川流量の値に近似直線の注釈を追加。	ご意見を踏まえ、表記について分かりやすい文言を追記いたします。
	37	p. 102 「9)底生生物」の表について、どのような目的で採集しているのかわからない。調査方法や時期を明記して同じ季節における採集個体数の変化が読み取れる表とする、指標生物ごとにまとめて結果を示す等、調査の意義がわかる形に変えてほしい。	ご意見を踏まえ、水質など川の環境の状態を知るために行う底生生物調査の目的を示すため、経年変化を示したグラフ等とする等表記の見直しをいたします。
	38	p. 108 「構造基準」を「環境確保条例に基づく構造基準」のように根拠法令を明記。	ご意見を踏まえ、表記の見直しをいたします。
	39	p. 112 円グラフの説明が欲しい。もしくは円の中心に「降水量：138.78」と入れるとか。あと、表に単位が示されていない。m3/yでよいのか？	ご意見を踏まえ、分かりやすい表記とするため、説明文及び単位表記を追記いたします。